

2020年度日本高等教育開発協会事業報告

日本高等教育開発協会は、高等教育開発者同士の連帯を図りつつ、高等教育開発に関する活動を実践する。日本の高等教育機関の教育と学習の質の向上に貢献するべく、4つの事業領域に基づき個別事業を推進する。それぞれの事業領域は相互に関連しており、より質の高い教育開発の実現を目指すものとする。

I 研修・研究事業領域

1. JAED 研究会(担当:西野理事@関西地区、榊原理事@関東地区)

- 関西:2020年9月15日に第12回研修会をオンラインにて開催。
参加者16名次年度も開催検討する。
- 関東:2020年5月23日に第11回研修会をオンラインにて開催。
「教学マネジメントの捉え方と実践」(芝浦工業大学・理工学教育共同利用拠点と共催)
参加者43名、次年度も前期に開催を検討中。
- 関西、関東合同:オンラインにて「15のシナリオ」に関する研究会を開催。89名参加

2. 各種研修会の企画・実施(担当:中井副会長)

FDer養成講座ならびにカリキュラムコーディネーター養成研修会の企画・実施だけではなく、長期的な見通しを含めた事業計画を構築する。

【カリキュラムコーディネーター養成研修会】

- 第4回CC養成研修会(初級2020年11月21日~22日、中級2020年11月14日)に完了した。
- 評価編は、JAED主催、オンラインで開催(2021年6月18日~19日予定)
- 位置づけ:初級編と中級編をつなぐもの。中級編受講は引き続き初級編受講が条件とする。
- イメージ:カリキュラムに関するIRer養成講座。
- 第5回CC養成研修会、愛媛大学・芝浦工業大学主催、JAED後援(2021年12月11日~22日予定)。

【FDer養成研修会】

- 愛媛大学・芝浦工業大学主催、JAED後援(2021年10月16日~17日予定)

3. 大規模オンライン新任教員研修の検討(新規)(担当:佐藤会長、井上理事)

各大学における新任教員研修を大規模オンラインで実施する方法について検討する。各大学での新任教員研修の必要性は高まりつつあるものの担当者不在・不足という課題が存在する。それを解消するための方法を検討する。会員の著作の教科書としての活用、FDer 養成講座との連携、修了証の発行方法、VOD の活用などについて検討する。

- 大阪大学にて、オンラインで、プレ FD(2020年8月)、授業づくりワークショップ(2020年9月、2021年2月に)を実施した。これに伴いオンライン教材の公開準備を進めている。愛媛大学にて、オンラインで授業デザインワークショップを実施した。両大学の関係者で、情報共有している。
- 大学教育研究フォーラム(2021年3月18日)にて参加者企画セッション「オンライン教材を活用した教員研修の内製化」を発表予定。
発表者: 佐藤会長、井上理事、杉田先生(高知大学)、根岸先生(大阪大学)
- 大阪大学で作成したオンライン教材を追手門学院大学へ技術移転試行中

4. 国立高専機構との「教員育成フレームの構築による高専教員の質保証プロジェクト」(新規) (担当: 榊原理事・佐藤会長)

高専教員に対する「高等教育教授能力証明」の必須化を目的とした共同研究を実施する。研修の実施方法、能力証明の方法などについて検討する。

- 有償にて対応している。
- 2020年10月12日にキックオフ会議開催、素案について意見交換
- 2021年2月26日に高専機構作成の「スキルシート(案)」提示
- 2021年3月15日に「スキルシート(案)」について意見交換予定

5. JAED 研究費助成事業(新規)(担当: 中井副会長)

高等教育開発の発展に資する会員による研究に対して、一定額を支給する制度を構築し、試用する。

【報告】

- 中井: 3月の研究会に研究結果の発表と議論を予定
- 西野: 既に公開の研究会を開催済み

【方向感】

- 今年度の2名を継続しつつ、来年度1枠を募集する方向で進める

II 広報事業領域

1. 出版支援(担当: 中井副会長)

我が国の高等教育開発の発展に資するための出版を行う。あるいは非会員による出版に協力する。

①「シリーズ大学の教授法」(「授業改善」)を刊行する。

② カリキュラム関連の書籍の刊行を進める。

③ SD 関連の書籍の刊行を進める。

- ①3月30日発売予定。大阪大学のウェブサイトにおいて、パワーポイント要約ファイルを公開準備中。

- ②出版社と調整中3冊程度になりそう

- ③3巻分刊行、最後の巻も2021年5月に刊行予定。

2. 情報発信(担当:西野理事)

各会員の論考や活動を積極的に発信していく。

① ジャーナルを発刊する。

- 総会での議論の上、対応する。

②日本私立大学協会と連携し、GDC(グッドデザインカリキュラム)の選定ならびに取材・機関紙へ「教育学術新聞」への寄稿を行う。

- 今年度は見送り

【新設検討】

- ビヨンドコロナの教授法(名称は私大協小林さんを含め再検討)をテーマに募集し、記事として紹介する、教育学術新聞に掲載、アワードとして表彰する。選定3件に関しては、JAEDにて選定

③日本私立大学協会機関紙「教育学術新聞」からの寄稿依頼への対応ならびに、寄稿要望を行う。その内容をウェブサイト等通じて発信する。その際、若手会員を積極的に執筆メンバーにする。

- 昨年度は3本であったが、現在8本、年度内は10本まで伸びる予定。

III 認証事業領域

1. 新任教員研修認証(担当:加藤理事・榊原理事)

我が国の高等教育の質的向上に資するため、5大学程度の新任教員研修のプログラム認証を行う。

- 連携機関の1件について、加藤理事、榊原理事にて認証作業中。他1件申請依頼を受けており、前述の認証が完了次第、認証作業に着手する予定。

2. 学外教育プログラムの質向上プロジェクト(担当:佐藤会長・西野理事)(新規)

大学教職員や実務家によって提供されている、準正課活動、正課外活動である、学外教育プログラム(PBL、CBL、探究学習、体験学習など)の質向上方策について検討を行う。

- 桑木会員を中心に、九州アプリチャレンジ・キャラバンにおいて福岡工業大学短期大学部における来年度授業での活用に向けて検討中により、進捗を待ってその後どうするか検討。

IV 国際連携事業領域(担当:佐藤会長)

我が国の高等教育開発に関わる情報を発信し、また諸外国の高等教育開発の現状についての情報を収集すべく、ICED(国際高等教育開発コンソーシアム)の代表者会議(6月@チューリッヒ)に参加し、良好な国際関係を維持する。その情報をウェブサイトで発信する。

- COVID-19の影響により代表者会議ならびに大会は中止。
- 2021年はチリで代表者会議の開催が検討されているが、オンラインでの開催になりそう。

V 運営

1. 総務・予算運営(担当:中井副会長)(新規)

適切な予算を組み、実現する。事務局体制を整備する(事務局長の指名、業務フローの決定)。

- 新事務局長を総会にて議決。
- 今年度決算見込み、来年度活動予算書は別紙参照。

2. JAED 倫理憲章の策定(担当:加藤理事・井上理事)

規約「第39条 正会員は、本協会が実施する倫理研修を受講しなければならない」に鑑み、倫理憲章を策定する。

- 引き続き加藤理事・井上理事の方で草案の作成及び議論を進め、次回の総会で発表する。

3. 日本高等教育開発協会賞(JAED アワード)の認定(担当:井上理事)

総会において実施する。

- 総会にて業績ハイライトを元に昨年、一昨年度の受賞者を除いた提出者へ投票を行う。

4. 会員制度の見直し(担当:西野)(新規)

- 次回の総会にて案の議決を行う。
- 新会員入会時の推薦人押印は廃止する。

5. 10周年記念セミナーの企画・開催(担当:西野理事)(新規)

2020年3月8日に実施予定であった10周年記念セミナー(FDまるわかりセミナー)を年度内に開催する。

- 2021年3月開催の総会の翌日に開催する。

6. 理事会及び総会の企画・開催(担当:佐藤会長、西野理事)

理事会は6月、10月、1月に開催し、総会は2021年3月13日(土)~2021年3月14日(日)に開催する。会場は大阪大学を予定している。

- いずれも予定どおりオンラインで開催。